

2026年度事業計画書

1 活動方針

中期計画（2023-2026）の最終年度として、達成状況の分析を行い、これまでの成果を定着させるとともに、次期5か年計画に向けて計画を策定し、あわせて成果指標の見直しを行う。また、第20回町田市市民協働フェスティバルまちカフェ！の節目を契機として、地域活動に関わっていない潜在層へのアプローチを強化する。

2 達成目標

団体の活性化 35団体、協働（マッチング件数）12件

3 事業計画

（1）コーディネート事業

ア 相談・伴走支援

顕在化していないニーズや事業の方向性の整理を支援し、関係者や関係機関とのコーディネートなどを行うことで、事業の実現につながる継続的な伴走支援を実施する。

【実施目標：相談対応件数 年間150件以上】

イ 協働事業の支援

・協働事業を生み出す場の開催（まちカフェ！オープンデー等）を通じて協働事業の運営支援を実施する。本年度は、自治会・町内会に共通する課題をテーマとした特別企画も実施し、自治会・町内会の参加も促進し、自治会・町内会とその他の活動団体との連携のきっかけとする。また、地区協議会と連携し、地区における地域活動団体の支援を進める。

【実施目標：協働事業を生み出す場の開催回数 年間10件以上】

（2）情報収集及び発信事業

ア 広報誌の作成

サポートオフィスの事業、市内で活動する団体の紹介等を掲載するほか、サポートオフィスの知見等を取りまとめて発信する（例：広報、若者の参加、助成金等）。

【実施目標：広報誌発行回数 年間10回以上／各回1,000部】

イ ホームページ運営及びSNS・メルマガ等を活用した情報発信

・ホームページ（情報や知識のストックを目的とした広報）

市内外の活動事例、知見、サポートオフィス主催講座の報告を記録し、参加者以外にも活用できる情報としてストックする。

【実施目標：ホームページの更新件数 年間100件】

・SNS（ターゲットに見合う情報発信の仕組みの構築）

SNSを単なる広報手段として位置付けるのではなく、地域活動に関心を持つ潜在層への入口づくりや、実践知の蓄積・共有を目的としたツールとして活用する。あわせて、近年のSNSを取り巻く環境の変化および各媒体の特性を踏まえ、適切な使い分けができるよう、発信内容や反応、業務負荷等を検証する。その成果と課題を次期5か年計画および2027年度以降の本格的なSNS活用方針に反映させる。

【実施目標：現状の検証、ターゲットに見合う情報発信の仕組みの構築（ガイドライン作成）】

(3) 地域活動を行う組織の基盤強化及び人材育成事業

ア 講座開催

引き続き活動団体のニーズを把握し講座を開催。開催後は、ウェブコンテンツとして講座で扱ったポイント等をホームページ上に掲載する。

【実施目標：講座の開催回数 年間13回】

・活動に関するノウハウ講座

助成金、広報、学生・若い世代の団体への参加促進等、団体からニーズのある活動に関するノウハウ講座をまちカフェ！オープンデー内で開催。参加しやすいプログラムにすることで、今までオープンデーに来なかった層へもアプローチしていく。

・インクルーシブ研究会

2024年度よりスタートした、インクルーシブな場づくりのヒントを学ぶ講座を継続開催する。

【参考】2024～2025年度のインクルーシブ研究会で扱ったテーマ

車椅子等、障がいがある方とのコミュニケーションの取り方
視覚障害の方の日常を体験しよう！
子どもが安心して心地よく過ごせる場づくりのヒント
障がいと共に地域で自立して暮らす
性の多様性を知り、みんなで仲間になろう！
多文化共生～町田に住む外国ルーツの方とお話しましょう！～
障がいと共に働く
デフリンピック日本初開催！「聞こえない」を知ろう

・みんなの経験共有会 参考：2025年度末までに24回開催

町田市内で活動する方に登壇していただきその経験から学ぶ講座を継続開催する。

【参考】2025年度のテーマ

「町田から全国へ広がるボランティア ～まちだサポーターズのあゆみ～」
「町田のたのしいごみ削減啓発活動 ～みんなから大人気！うまちゃん&ゆうちゃんのあゆみ～」
「未来につなぐ感動の演劇～NPO 法人町田演劇鑑賞会のあゆみ～」

・コーディネーター研究会 【参考 2025年度4回開催】

2025年度より開始した本講座は、町田市内で活動するコーディネーターをゲストに迎え、インタビューを通じてその「専門性」を言語化するとともに、実践者同士のネットワーク構築を図ることを目的としている。2026年度も継続して開催し、これまでの講座で得られた知見を、2026年7月開催予定の「コミュニティ政策学会町田大会」において報告する。あわせて、その成果を冊子等の形で広く発信することにより、市内コーディネーターの育成およびエンパワメントに寄与することを目指す。

イ まちだづくりカレッジ

サポートオフィス設立以来実施している連続講座「まちだづくりカレッジ」は、団体支援（組織づくりコース）と個人支援（ナリワイづくりコース）の2つのプログラムを実施する。組織づくりコースは、2025年度に改定した内容（団体紹介パンフレットの制作をゴールとする）を継続する。ナリワイづくりコースでは、自分の好きなこと得意なことと地域の小さな困りごとを掛けあわせてナリワイをつくることをゴールとし、2026年度は、新たに町田市の地域課題に対する理解を深める内容を追加する。

【実施目標：上記イの連続講座コースの完了回数 年間2回】

ウ シンポジウム「まちだづくりサロン特別編」

市内活動団体の横のつながりづくり及び地域活動の裾野を広げることを目的に、外部講師を招聘して、社会状況や地域活動について広い視点でとらえることができるシンポジウム「まちだづくりサロン特別編」を開催する。

【実施目標：上記ウのサロンの開催回数 年間1回】

【参考】これまでのテーマと講師

2021年度	「私が動く、地域が変わる～今見つけ直す市民活動の価値と未来」	山岡 義典氏 (特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド理事長)
2022年度	「『協力』のテクノロジー～違うを大切に協力できる地域をつくる～」	松原 明氏 (特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会創業者、NPO法人協力アカデミー代表)
2023年度	調べるちから、伝えるちからを身につける ～「薄書（はくしょ）」でもいから、「白書」を作ろう！～	川北 秀人氏 IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者
2024年度	参加者全員がもっと関わりたくなる活動づくりのヒント	西川 正氏 (NPO法人ハンズオン埼玉副代表理事／真庭市中央図書館館長)
2025年度	地域づくりニューリーダー論 ～だれもが地域づくりの仲間となるために」	石井大一郎氏 (宇都宮大学コミュニティデザイン学科教授)

エ 町田市市民協働フェスティバルまちカフェ！

- ・第20回を迎えるのを機により広く市民が参加できる関わり方を設計し、市民が地域活動へ参加するきっかけ（入り口）を創出する。また、参加団体が主体的に運営する体制づくりを進め、第20回の記念となるような企画を検討する。
- ・各団体が新たな取組や協働事業を試験的に実施する場として位置づけ、必要な資源の提供、団体間の連携・協働の促進のためのプログラムや個別のマッチングを実施する。この取組をもって協働事業への発展を目指す。

【実施目標：協働による企画の実施件数 年間10件】

- ・子ども・若者が、主体的に関われる企画をまちカフェ！内で実施できるように実行委員会内で検討をすすめる。

- ・まちカフェ！全体企画、参加団体支援を行うボランティアとして「おうえん隊」を広く募集する、大学・高校への周知、Instagram 広告の活用などを通じて若い世代の参加を促進する。

【実施目標：おうえん隊各 1 回】

【参考】 2025 年度・第 19 回町田市市民協働フェスティバルまちカフェ！実績

参加団体数／ 実施企画数	参加団体・法人数 170 団体 参加庁内課 17 課 企画実施団体企画 ・2025 年 11/29(土) 市役所庁舎 152 企画 ・その他会場・日程 39 企画 ・関連イベント 2 企画 協賛 27 団体/個人 50 口
来場者数	市役所会場 8,894 人 その他 1,043 人 合計 9,937 人
おうえん隊	おうえん隊・ワンデイおうえん隊 44 名、3 団体

オ 若年層へのアプローチ

- ・まちだ地域まるごとキャンパス

【参考】 2025 年度実績：参加学生（高校生・大学生等）76 名、受け入れ団体（企業、自治会・町内会、地域活動団体）20 団体

2025 年度学生おうえん隊プログラムの発展系としてスタートした「まちだ地域まるごとキャンパス」を継続実施する。活動先を選ぶにあたり悩んでいる学生向けに事務局がコーディネートする参加方法も用意し、さらに参加しやすいプログラムとして改良する。

【実施目標：プログラム実施 年間 1 回】

- ・教育機関や行政と連携し、中学校の職場体験や大学との地域活動プログラム等を実施することで、若い世代の地域活動への参加を促進する。

【実施目標：プログラム実施 年間 2 件】

(4) 地域活動に関する調査研究事業

ア 支援体制の強化に向けた調査事業

- ・まちカフェ！参加団体を中心にヒアリング調査を行い、町田市内の団体の運営課題や町田市内の地域課題の把握をすすめる。

【実施目標：ヒアリングを実施した団体数 年間 10 団体】

- ・市外中間支援組織の支援状況の把握や他市との連携を強化するため、ヒアリングや研修・会議への参加を行う。

【実施目標：ヒアリングまたは研修、会議へ参加した回数 年間 2 回以上】

(5) 資金調達事業

ア 地域活動の資金支援の仕組みの構築「まちだづくり応援基金」

- ・寄付募集：「まちだづくり応援基金」への寄付も地域参加の入り口と位置づけ、楽しく寄付できる取組や寄付者満足度を高めるための取組を実施する。

【実施目標：寄付募集イベント実施回数 年間 1 回／達成目標寄付に賛同した人数・団体数 年間 40 人・団体】

- ・資金助成：地域密着の資金だからこそ資金支援と伴走支援の仕組みを確立する。

【実施目標：助成金を交付した団体数 年間 6 団体】

収入	
2024年度繰越金	1,013,174
法人寄付	100,000
個人寄付(大口)	1,000,000
その他個人寄付(募金箱・おみくじ)	15,710
雑収益(利息)	771
収入合計	2,129,655
支出	
9団体／個人への助成	299,000
支出合計	299,000
差し引き合計	1,830,655

- イ 助成金講座と個別支援を組み合わせた支援プログラムの実施
 ニーズの高い助成金をテーマにした講座と個別支援を組み合わせたプログラムを検討し、実施する。
**【実施目標：プログラムの実施回数 年間2回
 資金調達に関する伴走支援 2件】**

(6)次期計画の策定

4年間の成果指標の達成状況の分析と2024年度と2025年度の2か年にわたって行われた町田市と法政大学の共同研究「地域コミュニティの未来に関する共同研究」の提案を踏まえて、市民協働推進課とともに次期計画の策定と成果指標の見直しに取り組む。